

伊集院保健所感染症情報

2024年第26週（令和6年6月24日～令和6年6月30日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内警報発令：咽頭結膜熱、手足口病

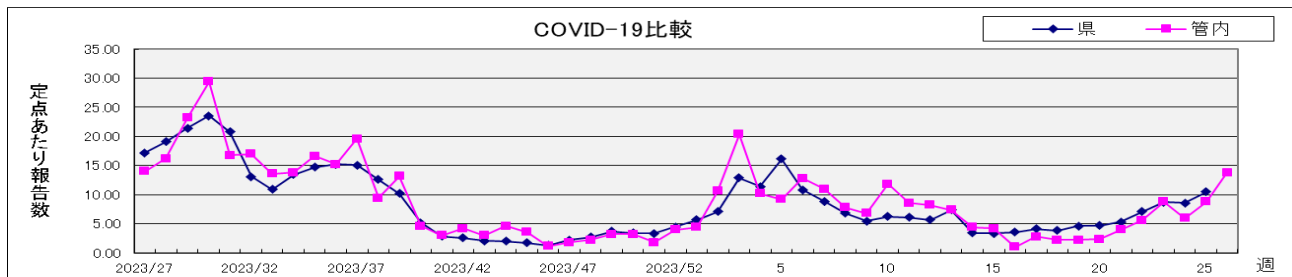
定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第23週	第24週	第25週	第26週	先週からの増減	第25週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.40	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
COVID-19	—	—	—	8.80	6.00	8.80	13.80	↗	10.51	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	2.67	3.00	4.67	3.33	↘	1.47	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	7.00	5.33	4.00	2.00	↘	3.04	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	3.67	1.67	1.33	↘	5.29	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.67	0.00	↘	0.12	↘
手足口病	5	2	—	7.00	7.00	5.00	6.33	↗	10.02	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	→
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.67	1.33	↗	0.33	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.67	0.33	0.33	1.33	↗	1.02	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.10	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	3.33	5.33	6.33	↗	2.53	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色色の塗りつぶし

● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）



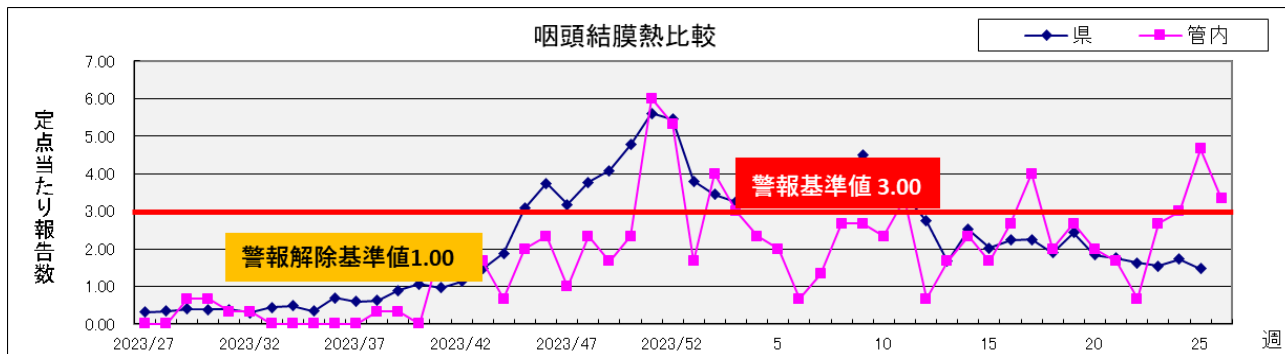
今週の伊集院保健所管内における COVID-19 の報告数は、前週の 44 人（定点当たり 8.80）から 25 人多い 69 人（13.80）でした。年齢別では 80 歳～（12 人）、10～14 歳・40～49 歳（各 11 人）、50～59 歳（7 人）、60～69 歳（6 人）、30～39 歳（5 人）、70～79 歳（4 人）、20～29 歳（3 人）、1 歳（2 人）、6ヶ月～11ヶ月・2歳・3歳・4歳・6歳・8歳・9歳・15～19歳（各 1 人）と全年代において報告されています。

★新型コロナ療養の目安：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から 5 日を経過し、かつ症状が軽快して 24 時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から 10 日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

感染症予防のポイント

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
 - ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
 - ③換気
 - ④集団生活の場では、共用部分の消毒
- 基本的な感染対策ができていないか見直しをしてみましょう。

・咽頭結膜熱（管内警報発令中！）

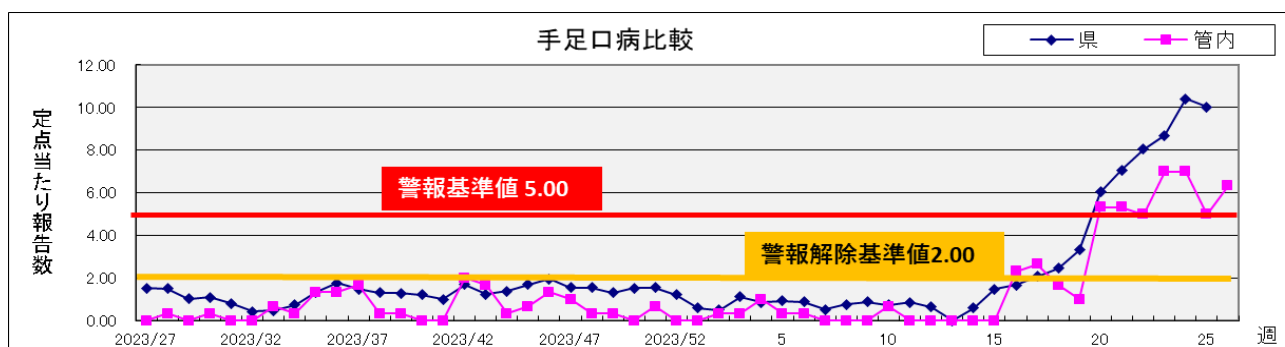


今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の14人（定点当たり4.67）から4人少ない10人（3.33）でした。年齢別では、4歳（3人）、1歳・2歳・5歳（各2人）、10～14歳（1人）でした。

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって起こる疾患で、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染です。

予防法は、感染者と密接な接触を避け、流行時には流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行することです。

・手足口病（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の15人（定点当たり5.00）から4人多い19人（6.33）でした。年齢別では、2歳（7人）、1歳（5人）、4歳（3人）、6ヶ月～11ヶ月（2人）、3歳・20歳～（各1人）の順に多い報告でした。

感染すると、3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。特に、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは集団感染が起こりやすいため、注意しましょう。

一般的な感染対策として、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。

○学校における感染症による出席停止の状況6/24～6/30（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、咽頭結膜熱1人、感染性胃腸炎1人、溶連菌感染症1人、その他アデノウイルス感染症1人、COVID-19が15人報告されています。

自治体名	疾患名	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	その他アデノウイルス感染症	新型コロナ感染症
日置市		1	1	1	0	8
いちき串木野市		0	0	0	1	7
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0
計		1	1	1	1	15